

第 231 回 日本知能情報ファジィ学会 理事会議事録 (第 15 期, 第 9 回)

日時 : 2018 年 6 月 2 日 (土) 11:00~14:00

場所 : 関西大学・高槻ミューズキャンパス・西館 4 階 M401

<http://www.kansai-u.ac.jp/global/guide/access.html#muse>

出席者 (敬称略) : 林 (会長), 乾口 (副会長), 藤吉 (副会長), 櫻井 (会誌), 本多 (事業・研究推進), 堀尾 (財務・会計), 井田 (規程・選奨), 星野 (大会デザイン; オブザーバー), 工藤 (出版・他学会連携), 能島 (広報), 中島 (特任・電子化データベース), 前田 (特任・資料アーカイブズ), 金久保 (財務・会計監事), 堀口 (事業監事), 広兼 (総務)

欠席者 (敬称略) : 橋山 (大会デザイン)

【審 議】

1. 前回議事録の確認 (資料 231-0 : 広兼, ML 審議 5/28 承認)

- ・資料 231-0 に基づき, 前回議事録の内容について説明があった.
- ・細かい誤植について確認して修正することとした.
- ・資料アーカイブズに関する箇所, 「シニア世代研究会へのご参加については, 資料提供の依頼とは別で作成することとした。」の意味について確認した.
- ・議事録の内容に疑義等ある場合は, 6 月 9 日までに総務担当理事へ連絡することとした.
- ・その後, 意見に基づき修正したうえで, HP へ公開することとした.

2. 総会用資料 (パワーポイント資料) の準備 (資料 231-1-1, 2 : 本多)

- ・資料 231-1-1 に基づき, 総会用 (パワーポイント) 資料について説明があった. 資料 231-1-2 に基づき, 総会の進め方について説明があった.
- ・SOFT-CR 委員会と会員データベース委員会を追加したことが報告された.
- ・総会では各委員会から説明していただくことを確認した.
- ・決算報告については, 堀尾財務・会計担当理事から説明していただくことを確認した.
- ・昨年度の SCIS&ISIS の収益は少なかった件, 今年はその収益の取り崩しはしていない件など, 説明することと確認した.
- ・予算案については, 堀尾財務・会計担当理事から説明していただくことを確認した.
- ・別刷り・Web 掲載収入の減少に対する対策については, 平成 30 年度の予算案の説明の後で説明することとした (スライドの移動).
- ・修正した箇所について最終確認した.
- ・学会活性化・経費削減のための施策を検討した.
- ・学会誌編集委員会から, 学会誌の A4 化および論文の一体化についてアナウンスすることを確認した.
- ・資料アーカイブズ委員会からの案内 (資料提供の依頼) については, 平成 30 年度事業計画の各委員会の箇所で説明することとした.
- ・SOFT-CR 委員会から, 学会誌特集を企画することをアナウンスすることとした.

- ・特集の企画者に対するインセンティブを検討する必要がある。
- ・特集論文の非会員の投稿者を会員に誘導する仕組みを検討する必要がある。
- ・ミニ四駆に企画についても積極的に取り上げる方法を検討する必要がある。
- ・FSSの参加者を増やす方策（ポスターセッションなど）を検討する必要がある。また、FSSから学会誌へ誘導していく仕組み（セッション終了後、論文化に向けてのディスカッションの充実、SMCでのメンタリングセッションなど）を検討する必要がある。

3. H29 事業報告について（資料 231-2：本多）

- ・資料 231-2 に基づき、H29 年度の事業報告について説明があった。
- ・平成 29 年度事業報告については学会 HP で掲載していることを確認した。

4. H30 組織図について（資料 231-3：本多）

- ・資料 231-3 に基づき、H30 年度の組織図について説明があった。
- ・総会用資料の説明の中で確認した。

5. H30 事業計画について（資料 231-4：本多）

- ・資料 231-4 に基づき、H30 年度の事業計画について説明があった。
- ・平成 30 年度事業計画については学会 HP で掲載していることを確認した。

6. H29 決算・H30 予算について（資料 231-5-1, 2, 3：堀尾）

- ・資料 231-5-1 に基づき、H29 年度の収支計算書について説明があった。また、資料 231-5-2 と資料 231-5-3 に基づき、H30 年度の予算案について説明があった。
- ・別刷・Web 掲載収入の減少に対する対策として、「来年度は研究部会等に対して特集論文を企画するよう積極的に依頼する。」、「FSS 等で積極的にアンケートを取り（従来の投稿の勧めのアンケート）、著者に投稿を勧めるメール等を送信する。」、および「論文誌も印刷物として学会誌と合併し、学会員に投稿を促す。」など実施することを確認した。

7. 特別会員について（資料 231-6：乾口）

- ・資料 231-6 に基づき、特別会員の内規案について説明があった。
- ・原案通り承認された。

8. IFSA への年次報告案について（資料 231-7：乾口）

- ・資料 231-7 に基づき、IFSA への年次報告案について説明があった。
- ・原案どおり承認された。

9. IEEE SMC2018 の電気通信普及財団申請に関わる推薦状について（資料 231-8-1, 2, 3：林）

- ・資料 231-8-1, 2, 3 に基づき、IEEE SMC2018 の電気通信普及財団への助成申請における推薦依頼について説明があった。
- ・推薦状を出すことについて、原案通り承認された。

10. FSS2018 のザデー先生追悼企画セッションについて（資料 231-9-1, 2 : 林）

- ・資料 231-9-1, 2 に基づき、FSS2018 でのザデー先生追悼企画セッションの企画について説明があった。
- ・特別講演者（菅野先生）から特別講演の了承が得られ、タイトルを一部変更したことが報告された。
- ・6 名の講演者についても了承が得られたことが報告された。ただ、一部の講演者については途中で退席する可能性があることが報告された。
- ・企画案について、原案通り進めていくことが承認された。

11. 大会デザインについて（資料 231-10 : 星野）

- ・資料 231-10 に基づき、SOFT 系大会のあり方について説明があった。
- ・地方支部大会→FSS・各研究会（→学会誌）→SCIS（→学会誌）→IFSA/WCCI/SMC など若手研究者に対するストーリーをアナウンスすることが重要であることを確認した。
- ・学会誌の特集を増やすために、地方支部等に対しても積極的にアナウンスしていく必要があることを確認した。

12. その他

- ・会費滞納者について審議し、本人に確認することとした。連絡後の情報については 6 月初旬までに会計・財務担当理事に連絡することとした。

【報 告】

1. 横幹連合の常置委員会委員の募集について（資料なし : 広兼）

- ・横幹連合の常置委員会（「広報・出版委員会」または「学術・国際委員会」のどちらか）の委員として、希望のあった学会員 1 名を推薦したことが報告された。推薦に当たっては、日本感性工学会との共同推薦となったことが報告された。

2. その他

- ・次回理事会について、FSS2018（9 月 3 日～5 日）の最終日 9 月 5 日開催予定とした。

以上